

令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	泉南市商工会
	代表者職・氏名	会長 藤田 眞弘
	所在地	〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2-5
	担当者	職・氏名 事務局長 土井 一茂
	連絡先	TEL（直通）： 072-483-6365
		Fax： 072-483-5321
		E-mail： info@sennan-sci.or.jp
①設立年月日		昭和47年7月10日
②職員数 （うち経営指導員数）		6名（経営指導員5名）（令和3年4月1日現在）
③所管地域		大阪府泉南市
④管内事業所数		2,128事業所（平成28年度経済センサス）
⑤管内小規模事業者数		1,423事業所（平成28年度経済センサス）
⑥会員数（組織率）		1,142事業所（53.6% 令和3年3月31日現在）
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること		
□主な事業概要（定款記載事項等）		
<p>(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>(2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>(3) 商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>(4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>(5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>(6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p style="text-align: right;">(7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>(8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>(9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>(10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。</p> <p style="text-align: right;">(11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>(12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>(13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>(14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。</p>		

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>地域小規模事業者の抱える個々の課題については巡回訪問等により課題を把握し、経営相談や専門相談により迅速に対処していく。そのためにも、各種支援制度や助成金制度等の情報発信を行い、即座に対応が出来る体制を整える。</p> <p>一方、地域活性化事業等の取り組みについては、前期の巡回訪問により情報を得た事業所のニーズに基づき、通常の巡回訪問や窓口相談の際に、“事業者の抱える課題は何か”を常に意識して接することに努め、各事業所の役に立つ様々な情報の提供を行い、事業所が気軽に相談できるよう、出来るだけ先方に訪問するように心掛ける。そして、前向きに取り組む事業所に対し実績が上がるような取り組みを心掛け、この方々がリーダーとなり、次世代の牽引者となっていただく仕組みを構築する。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>経営相談支援事業では、各事業所のニーズと現況を十分に把握した上で、迅速かつ的確な回答が出来るよう職員の資質向上に努め体制を整えた。特に迅速な情報提供と巡回訪問を重点的に実施する中、専門相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少から資金繰りが厳しい事業所が多く、各事業所の実態に合わせた融資金の供給を心掛けた。特にキャッシュフローが少なく返済原資が出てこない事業所については、事業計画書の作成等キャッシュフローの増大を図る為の経営指導を合わせて行った。地域活性化事業については、阪南市・熊取町・岬町・忠岡町商工会他泉州地域全体の広域連携を心掛け、効率的に効果が上がるように事業の実施を予定していたが中止となり、事業成果を発揮できない事態にもなった。また、雇用調整助成金、大阪府休業要請（外）支援金、持続化給付金と営業時間短縮協力金など経営の安定化に向け補助金の情報提供・申請支援を積極的に実施した。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>経営相談支援事業では、巡回による事業所の実態把握により、迅速かつ的確な支援を提供できた。多種に渡る課題に対応し、相談事業者に一步踏み込んだ相談を実施した事で効果的な支援が出来た。</p> <p>地域活性化事業では、昨年度まで「泉南マルシェ」として開催していた地域連携型「泉南まるごと物産展」事業を「泉南まるごとフェスティバル」として再構築し、泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）にて開催した。実施にあたっては、各団体の協力のもとイベント実行委員会を新たに組成し、販路開拓や商品開発等に取り組んだ。「泉南異業種交流会」事業では、工業系事業所を中心に令和2年7月にオープンした「月化粧ファクトリー」で先進事業所視察や共通の課題である人材不足解決セミナーを開催し意見交換をすることで、新しい取り組みや企業間連携を促進した。今年度3回目となる「女性活躍推進支援」事業では、緊急事態宣言の再発令によりリモート開催に変更し、働く女性を取り巻く社会・企業の環境・意識改革を促す活動を推進した。今年度4回目となる「せんなんまちゼミ」は緊急事態宣言の再発令もあり中止となった。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業規模・業種を問わず、あらゆる事業所が甚大な影響を受け、極めて厳しい経営状況が継続している。感染症の影響が長期化する中、経営相談支援事業では多くの事業者が高齢化し事業継続が精一杯の状態であり、後継者不在のため事業継承をスムーズに行えておらず、地域活性化事業では前向きな事業者が増えているが、販売イベントや展示会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり商機を逃す結果となった。</p> <p>こうした現状を踏まえ、我々商工会は地域経済のリーダーとして、地域活性化を図る必要があると考えており、多彩なチャンネルを創出し小規模事業者のニーズにあった経営支援を、より一層拡充し、中小企業・小規模事業者の課題解決に向けて全力で支援する。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>経営相談支援事業については、事業所への巡回訪問をさらに強化し、各種の支援や新型コロナウイルス感染症対策に関連する一時支援金や営業時間短縮協力金、他の各種支援金や補助金制度等の情報を提供・申請フォローを行い、潜在的な課題点等を発掘し、早期解決に向けた取り組みを実施する。Withコロナ時代を迎え、専門的な支援を含む多様な支援を望む事業所に臨機応変に対応し、事業の持続的発展に資するよう、伴走型の指導・助言が継続的に出来る支援体制を整える。地域活性化事業においては、泉南市との共同開催による「泉南まるごとフェスティバル」をはじめ、事業として地域振興・地域活性化に必要な施策の導入について話し合う「地域振興推進検討事業」、中小企業が有する共通・共有の経営課題解決を図る「工業振興対策事業」を中心に新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を十分行ったうえで実施する。</p>

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、小規模事業者を取り巻く経営環境は非常に厳しく、多種多様の支援が求められている。当商工会では、経営指導員の窓口での相談対応や巡回時の事業所実訪の際に、事業主とのコミュニケーションを図り、経営状況の課題抽出が出来るよう心掛けて支援を実施した。また、事業所へのサービス提案において、課題解決に向けた支援内容を明確に提示し、そして改善出来るまで継続支援していくという姿勢を示し、相談事業者の信頼を得られるよう努めた。その結果、双方腰をすえて課題解決に取り組む支援体制が出来た。</p> <p>経営相談支援事業には地域支援ネットワークの構築が必要であり、行政をはじめ各関係機関との連携、地域金融機関との連携から幅広い受け皿が必要である。特に金融支援については、複合的な支援が必要であるため、可能な限り複数の支援メニューを使い支援することに努めた。高度専門化する相談内容に対応するためには、専門家の知識が必要である場合が多いため、弁護士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士等専門家と連携（支援機関等へのつなぎ）出来る体制を取っている。支援機関との繋ぎについては、必ず経営指導員も同行することを励行しており、経過を把握することが出来たことに加え、経営指導員の資質向上にも繋がっている。</p> <p><代表事例カルテ></p> <p>平成17年11月に泉南市で美容室を開業し経営されている。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、災害時対応支援について経営指導員が伴走支援を実施する中、経営者も非対面型ビジネスモデルへの転換を前向きに取り組む姿勢へと変化があった。Withコロナ時代を見据えて今後の事業計画を策定し経営の安定化に繋がった。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	225	246	109.3%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	14	14	100.0%	5	
金融支援（紹介型）	支援数	33	36	109.1%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	48	45	93.8%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	1		5	
資金繰り計画作成支援	事業所	0	0			
記帳支援	事業所	45	32	71.1%	4	
労務支援	支援数	35	37	105.7%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	0	0			
マーケティング力向上支援	事業所	0	0			
販路開拓支援	支援数	72	71	98.6%	5	
事業計画作成支援	支援数	20	20	100.0%	5	
創業支援	事業所	2	2	100.0%	5	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	5	0	0.0%	2	
コスト削減計画作成支援	事業所	0	0			
財務分析支援	事業所	20	39	195.0%	5	
5S支援	事業所	0	42			
IT化支援	事業所	1	1	100.0%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0			
事業承継支援	事業所	20	7	35.0%	3	
災害時対応支援	事業所	32	74	231.3%	5	
フォローアップ支援	事業所	50	42	84.0%	5	
結果報告	事業所	225	246	109.3%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>税務相談においては、事業主の高齢化に伴い、事業承継（相続）に係る相談が多く、事業承継をスムーズに行うため税務面からの解決に役立った。法務相談においては、労務相談や税務相談では対応しきれない事業遂行上の諸問題に対し、法律面から適切なアドバイスをさせていただき、解決に向け前進させることが出来た。労務相談においては、各種助成事業の紹介や取り組み・労使双方の問題解決を心掛けた。経営相談においては、各事業所の抱える経営問題を掘り下げ、経営状況の分析に基づいた適切な支援を実施することが出来た。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	5
法務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	5
労務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	5
経営相談	継続	相談件数	12	12	100.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

商業・工業関係における地域活性化事業では、参加事業所の増大と充実を支援のポイントと捉え、参加事業所の目線で事業を実施した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響は収束せず、Withコロナ時代に適合したイベントの開催手法を検討するとともに、参加事業所にもこれからの出店に対する意識の変革および商品コンセプトの必要性を支援すべきと感じた。

工業・労務関係における地域活性化事業では、交流会とセミナー開催を基本としているため、Withコロナ環境でのリモート開催を積極的に推進し、参加者に慣れてもらう必要があると感じた。また、交流会については、ZOOMなどの環境を整備する必要があることから参加者が限定される懸念があるが、開催については当商工会でも検討していく。

泉南を代表するイベントとして令和2年11月15日に令和2年にオープンした泉南りんくう公園にて「泉南まるごとフェスティバル」（＝地域連携型「泉南まるごと物産展」事業）を開催し、好天に恵まれ今まで以上の多くの来場者で賑い、泉州地域の事業者は売り上げアップを図るため、販路開拓や商品開発などに取り組んだ。この「泉南まるごとフェスティバル」は、泉南市・泉南市観光協会・泉南市商店会連合会・商工会青年部、女性部と連携、また広域連携事業としてオール泉州で取り組むことができ、次年度以降に大きく期待できるイベントとなった。

泉南地域活性化の起爆剤としてスタートした「せんなんまちゼミ」は、今年度4年目となるが、緊急事態宣言の再発令に伴い、事務局と実行委員会で何度も協議し中止を決断した。

今年度も「泉南異業種交流会」開催により、工業系事業所を中心に意見交換をすることで、共通の課題に対する新しい取り組みや企業間連携を促進した。この「泉南異業種交流会」についても、りんくう地域全体に範囲を広げ、より事業者間で連携できる体制を整えるため、次年度以降は工業振興対策事業として取り組んでいく。

また、平成31年4月施行「働き方改革関連法」の中で、特に女性活躍推進にスポットをあて事業を実施し、働く女性を取り巻く社会・企業の環境・意識改革を促す事業を行った。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	泉南異業種交流会事業	40	36	90%	89	アンケートの回答で、泉南異業種交流会が今後の事業運営に役立ったと回答した事業者の割合	70	100	143%	5

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	地域連携型「泉南まるごと物産展」事業	50	51	102%	88	新規顧客獲得・売上が増加した事業所	30	44	147%	5
○	女性活躍推進事業	40	40	100%	87	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合	70	95	136%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉南市商工会

事業名		女性活躍推進事業							
想定する実施期間		H30 年度～ R2 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面している。こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっており、女性の活躍推進が企業の価値向上に寄与するという共通認識を社会で醸成し、働く女性を取り巻く社会・企業の環境・意識変化が必要だと考える。</p> <p>全国的に見ると、大阪府の女性就業率(15～64歳)は45位(下位から3番目)と低い水準にあり【総務省[平成29年就業構造基本調査]】、要因として考えられるのは大阪府では全国に比べて、女性の離職理由に「結婚」をあげる割合が高く(全国4位)、「出産・育児」を理由とする離職についても全国平均より高いことが要因としてあげられ、結婚・出産・育児といった節目での離職理由の高さが、大阪府の既婚女性の就業率の低さに起因していると考えられる。</p> <p>大阪府の働いていない女性の退職理由を見ると、77%が結婚・子育て・介護等の理由であり、そのうち「やむなく辞めた」は40.5%、「望んで辞めた」は36.5%である。「やむなく辞める」は正規社員より非正規社員に多くみられ、退職後の就業意識を見ると「就職を希望していないが条件が整えば就職を希望する」割合が最も高い。働いていない女性が就業のために一番必要だと考えるものは、「保育所や学童保育などの施設設備」が最も高く、次いで「短時間勤務や在宅ワークなどの多様な勤務形態の普及」の割合が高いと平成25年度に実施された大阪産業経済リサーチセンターのアンケート結果から伺える。</p> <p>泉南地域においても少子高齢化に伴い労働力人口の不足が見込まれるなか、多様な人材の活躍を通じて労働力の確保につなげていくことが期待されている。グローバル競争の激化により、企業は顧客の多様なニーズを汲み取ることが必要になり、多様な人材の活躍は、新たなイノベーションの創出にも寄与すると考えられている。</p> <p>現状では、労働力人口の半分を占める女性においても、未だに多くの女性が仕事と家庭の両立の難しさなどを理由に離職することや、女性が勤務する職種や雇用形態の役割が限定的であることなどから、女性の能力が十分発揮できていないことを経営者や人事労務担当者が認識し、多様な人材の活躍推進の第一歩として、女性の活躍を進めることに意義があると理解し行動する小規模事業者から中堅・中小企業まで、事業規模に捉われず支援する。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域2市3町(泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町)の事業者全般であり、女性の能力を活用することでさらなる飛躍を目指したい前向きな中堅・中小企業の経営者および人事担当者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和3年1月13日に緊急事態宣言が再発令されたことにより、実施手法をYouTubeを活用しリモートでの開催となった。女性活躍推進セミナーと書面での情報交換を令和3年1月27日に開催した。</p> <p>●第1部 女性活躍推進セミナー 魅力ある職場づくりが重要である働き方改革についてわかりやすく解説する。また、女性の雇用拡大、女性が働きやすい環境づくりを多くの事業所が取り組みを検討している中、性別や現況の職種・雇用形態を問わず、より責任の重い職務や職位・職種にチャレンジできる事業所の環境づくりについてわかりやすく解説する。</p> <p>●OSAKAしごとフィールドの中小企業人材支援センターを紹介</p> <p>●第2部 女性活躍推進に関するパネルディスカッションと情報交換会 急遽YouTubeを活用しリモート開催となったため、参加者のZOOMなどでの対応がスムーズに出来なかったため、大阪府商工労働部と協議し、参加者の女性活躍推進への取り組み又は考え方・意識を取り纏め情報共有することで情報交換会の代替案として実施した。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td>OSAKAしごとフィールドの取組について、参加者に説明する機会を設けるなど認知度を上げる取り組みをした。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>連携商工会の担当者と随時連絡を取り、参加者募集やポスター掲示、チラシ配布、HP掲載など業務を分担した。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>セミナーで、知識を習得し、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。</td> </tr> </table>	①府施策連携	OSAKAしごとフィールドの取組について、参加者に説明する機会を設けるなど認知度を上げる取り組みをした。	②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、参加者募集やポスター掲示、チラシ配布、HP掲載など業務を分担した。	③市町村連携		④相談相乗
①府施策連携	OSAKAしごとフィールドの取組について、参加者に説明する機会を設けるなど認知度を上げる取り組みをした。								
②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、参加者募集やポスター掲示、チラシ配布、HP掲載など業務を分担した。								
③市町村連携									
④相談相乗	セミナーで、知識を習得し、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。								

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40	総支援企業数(実績)	40	支援実績率	100%	満足度	87
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>泉南地域は、人材不足であり雇用確保問題が経営者を悩ませている。昨年度に続きオール泉南で取り組むことができたことは非常に大きな意味を持つと考える。新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言が再発令し、急遽リモート開催となったが各商工会の連携が取れており、多くの事業経営者が参加され受講した。ただ、情報交換会を実施するためZOOMなどを活用する準備まで出来なかったが各事業所の女性活躍推進に対する意識や考え方、取り組みに関することを紙面であるが情報共有できたことには満足している。参加者の満足度も高く、非常に興味深いテーマであることが伺える。</p>							
	代表指標	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合							
	数値目標	70%	実績数値	95%	目標達成度	136%			
	成果の代表事例	<p>清掃業を営んでいる事業所に対して、業務効率および事業再構築の視点から事業計画の策定支援を実施した中で雇用に関する慢性的な悩みがあることが分かった。セミナーと一緒に受講した社会保険労務士と女性活躍推進を考えた雇用について取り組む計画を検討している。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取り組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>事業3年目にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響はまだ大きく、セミナー開催前に緊急事態宣言が再発令され、リモート開催への変更を余儀なくされた。泉佐野より南の泉州地域では労働者不足、雇用継続の難しさ、新規雇用は益々厳しい状況となった。</p> <p>女性活躍推進には取り組む必要性を感じているが、Withコロナ時代を迎えてより大きな視点からの労働環境を見直し、様々な事案を臨機応変に対応することが必要不可欠であると感じている経営者が多いことから、次年度以降は前向きな労働環境の整備および最新トピックスの発信に事業を修正したいと考えている。</p>							

	成果の代表事例	業種は製造業ではなく建設業であったが雇用は共通の課題である。新入社員を雇用したが7カ月で退職するなど課題を抱えていた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり事業計画よりズレがあったものの海外研修生を受入れ、人材不足の課題を解決するとともに今までの業務を見直し作業の効率化を前向きに取り組んでいる。					
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)						

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	18	支援実績率	90%	満足度	84
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	中小企業の課題解決に向け、経営セミナーに参加し知識を習得する。また、事業者間での意見交換を通じて事業者が一体となり経営改善・活性化を目指すことを目的とする。							
		指標	アンケートの回答で、泉南異業種交流会が今後の事業運営に役立ったと回答した事業者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	143%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	18	支援実績率	90%	満足度	94
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	先進事業所等の取り組みを目の当たりにすることにより、自社との比較が出来、また課題が浮き彫りになる。そしてその解決に向けた新しい取り組みにつながる。							
		指標	アンケートの回答で、泉南異業種交流会が今後の事業運営に役立ったと回答した事業者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	94%	目標達成度	134%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

泉南市商工会

事業名 地域連携型「泉南まるごと物産展」事業

想定する実施期間 25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

商店のほとんどの店舗が点在している泉南地域では、商店街等の商業集積地域が少なく、また大型店の出店に伴い商店が疲弊し集客力に乏しいのが現状である。そこで地域の商業者の店舗を1ヶ所に集めシリーズ「地産知消」（地域で生産されたものを知って消費する）として物産展を開催することで集客力を高めることが出来る。大型店にはない泉南地域の事業所自慢の商品を展示PR・対面販売することで商品の良さを知ってもらい、販路開拓につなげることができる。

支援する対象
(業種・事業所数等)

泉南地域（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の事業者全般

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

令和2年11月15日（日）10時～15時、泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）において「泉南まるごとフェスティバル」を開催。同会場にて地域事業所を集めた「泉南まるごと物産展」を開催し合計51事業所（泉南23：阪南18：熊取5：岬3：忠岡2）が出店し飲食物や商品の販売とPRを行った。
当日は天候に恵まれ約7000名の来場者を迎えることができ、泉南市の商業、工業、農水産業をアピールすることができた。

<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>

- ①府施策連携 会場の一角に泉南市内連携団体による体験ブースと並んで大阪府技能士連合会の技能士PRブースを設置、来場者に対し技能士が有する技術や技能をわかりやすくアピールするとともに若者へモノづくり体験の機会を提供した。
- ②広域連携 連携商工会の担当者で随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者で連絡をとりつつ円滑な事業運営を実施した。今年度はコロナ禍のためzoomミーティングを活用し担当者会議を行った。
- ③市町村連携 泉南市産業観光課の担当者を含め、地域関係団体で「泉南まるごとフェスティバル実行委員会」を組成し会議を開催。地域の商業者と泉南市の商業担当者で泉南マルシェ実施に向けた企画、打合せを行った。また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広く広報を行うことができた。イベント当日は泉南市の施策RPブース、観光案内ブースを設け行政施策をアピールすることができた。
- ④相談相乗 イベント出店勧誘の際には事業所の支援ニーズを把握することで適切な支援につなぐことができた。またイベント出店の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけるよう支援を実施した。

計画に対する実績（数値）

総支援企業数(計画)	50	総支援企業数(実績)	51	支援実績率	102%	満足度	88
------------	----	------------	----	-------	------	-----	----

目標の達成度
(支援企業をどう変化させることができたか)

泉南市ではこれまで各団体が各々にイベントを開催している状態で、泉南を代表するようなイベントが存在していなかった。今回開催した『泉南まるごとフェスティバル』は各団体の垣根を乗り越え、泉南市がワンチームで取り組む一大イベントであり商工業のみならず農海産物の出店や、地域の各団体を含めた泉南の魅力を広く発信することができた。
令和2年に開園した泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）は抜群のロケーションを有しており、アクセスも良く広くから集客が見込める会場で来場者数の増加につながった。

1.参加企業数（実績）について
・広域連携で実施。各商工会からほぼ計画通りの出店者数（泉南23店舗、阪南から18店舗、熊取から5店舗、岬から3店舗、忠岡から2店舗。合計51店舗の出店となった。

2.満足度について
・アンケート満足度（0～10の11段階評価）の点数を平均した数値

3.指標（新規顧客獲得・売上増加した事業所）について
①販売先数50件以上 ②販売金額20,000円以上
・上記①②のどちらかに該当する事業所数： 44事業所
今回は昨年と比べ来場者大幅増（約6000名→約7000名）となった為、満足度（82%→88%）、指標（116.7%→146.7%）ともに昨年より上昇した。

指標	新規顧客獲得・売上が増加した事業所				
数値目標	30	実績数値	44	目標達成度	147%

事業全体の実績／目標達成

度	成果の代表事例	令和2年11月に新規開業したカフェ 新規顧客獲得、売上拡大を目的にイベント出店。会場ではコーヒー等の飲料とドーナツを販売。写真映えするメニューとおしゃれな店構え、積極的なSNS活用にて多くの新規顧客を獲得することができた。イベント出店後はイベント会場で獲得した新規顧客やSNSを見て来店する人が続出、現在では泉南市を代表するような繁盛店となっている。				
	その他目標値の実績	目標値 (計画)	2,500	目標値 (実績)	7,000	目標達成度
		イベント開催当日は晴れ、無風、気温20度と最高の行楽日和で非常に多くの来場者を迎えることができた。会場内では消毒アルコールや検温器、各ブースでも適切な感染症対策を徹底したことで来場者に安心して買い物を楽しんでいただくことができた。事前の広報では泉南市内への新聞折込だけでなくSNSやイベント情報サイトを活用、出店者へもSNSを活用した情報発信を促したことで泉南市外からの来場者の増加につながった。				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>今回、開催会場を泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）に変更したことで、これまでと比較して来場者の層と来場目的が大幅に変化。（高齢者中心→家族連れや若者・レジャー目的の割合増加）</p> <p>今後は来場者の年代やニーズにあわせて取り扱い品を変更する必要性を感じた。（野菜や果物などの青果や、鉢植えなど重量のあるものは売れにくい）</p> <p>また新型コロナウイルス感染症対策として来場者の検温と手指消毒に人員を割いていたが、次回はスムーズな検温や消毒ができるように人の流れのコントロール方法や設備の導入を検討したい。</p>				